

平成 20 年 12 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス  
(コード番号8889 大証ヘラクレス)  
代 表 者 代表取締役社長 大村 浩次  
本社所在地 東京都中央区京橋一丁目1番5号  
問 合 せ 先 常務取締役 石川 雅浩  
T E L 0 3 - 3 2 3 1 - 8 0 2 0

## 特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年9月期において特別損失が発生する見込みとなりましたのでその概要をお知らせするとともに、平成 20 年8月 13 日付「業績予想の修正、特別損失の発生及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました平成 20 年9月期通期(平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年9月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 特別損失の発生とその内容について

当社は平成 20 年9月期通期において下記内容の特別損失が発生したことにより、連結 9,225 百万円(うち第4四半期 6,339 百万円)、個別 10,590 百万円(うち第4四半期 7,308 百万円)の特別損失を計上いたします。

#### (1) 連結

##### ① 販売用不動産等評価損

主に当社子会社が保有する販売用不動産等について、昨今の不動産取引の状況を考慮し資産評価額を保守的に見直した結果、販売用不動産等評価損として 3,107 百万円(うち第4四半期 3,107 百万円)を計上いたします。

##### ② 減損損失

当社子会社の株式にかかるのれんに対して将来見込まれる収益性の再評価を行ったこと、および固定資産の評価を保守的に見積もったこと等により、減損損失として 1,886 百万円(うち第4四半期 1,247 百万円)を計上いたします。

##### ③ 投資有価証券評価損

時価が著しく下落した保有投資有価証券について、減損処理による投資有価証券評価損として 1,287 百万円(うち第4四半期 10 百万円)を計上いたします。

##### ④ 投資有価証券売却損

手元流動性を高めることを目的として保有する投資有価証券を売却したことに伴い、投資有価証券売却損として 721 百万円(うち第4四半期 602 百万円)を計上いたします。

##### ⑤ その他

上記①～④の他、以下の特別損失を計上いたします。

区分	通期	(うち第4四半期)
店舗閉鎖損失	536 百万円	166 百万円
固定資産売却損	511 百万円	511 百万円
リース解約損	213 百万円	201 百万円
貸倒引当金繰入額	202 百万円	—
固定資産除却損	166 百万円	70 百万円
事務所閉鎖損失	155 百万円	155 百万円
その他	436 百万円	266 百万円

## (2) 個別

### ① 関係会社株式評価損、投資損失引当金繰入額

関係会社株式のうち、時価が著しく下落した株式について回復可能性を慎重に見積もった結果、関係会社株式評価損として3,282百万円(うち第4四半期3,282百万円)、投資損失引当金繰入額として1,469百万円(うち第4四半期490百万円)を計上いたします。

### ② 貸倒引当金繰入額

関係会社等に対する金銭債権のうち、回収可能性の低い債権について3,443百万円(うち第4四半期2,256百万円)の引当処理を実施いたします。

### ③ 投資有価証券評価損

時価が著しく下落した保有投資有価証券について、減損処理による投資有価証券評価損として1,184百万円(うち第4四半期178百万円)を計上いたします。

### ④ その他

上記①～③の他、以下の特別損失を計上いたします。

区分	通期	(うち第4四半期)
投資有価証券売却損	409百万円	326百万円
減損損失	279百万円	279百万円
固定資産売却損	212百万円	212百万円
その他	310百万円	281百万円

## 2. 平成20年9月期通期業績予想の修正について

### (1) 平成20年9月期通期業績予想の修正(連結)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり純利益
前回発表予想(A)	60,000	400	200	△1,950	△2,006円41銭
今回修正予想(B)	59,218	458	421	△7,033	△7,236円40銭
増減額(B-A)	△782	58	221	△5,083	—
増減率(%)	△1.3	14.5	110.5	—	—
(ご参考)前期実績 (平成19年9月期通期)	64,270	6,047	6,776	1,353	1,342円91銭

### (2) 平成20年9月期通期業績予想の修正(個別)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり純利益
前回発表予想(A)	10,000	1,100	2,000	100	102円89銭
今回修正予想(B)	10,647	1,088	2,067	△7,021	△7,224円04銭
増減額(B-A)	647	△12	67	△7,121	—
増減率(%)	6.4	△1.0	3.3	—	—
(ご参考)前期実績 (平成19年9月期通期)	19,253	4,041	5,196	△1,917	△1,901円61銭

### 3. 業績予想修正の理由

#### (1) 連結

サブプライムローン問題から派生した国際的な金融市場の収縮、融資姿勢の消極化等の影響による不動産市況の低迷という経営環境の変化を踏まえ、平成20年8月13日付「業績予想の修正、特別損失の発生及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて業績予想を修正いたしましたが、売上高・営業利益は概ね前回発表時の予想通りとなる見込であります。

経常利益につきましては、有利子負債の圧縮による支払利息の減少など営業外費用が想定より減少したこと等の理由により、前回予想より221百万円増加し、421百万円となる見込であります。

しかしながら、当期純利益につきましては、投資有価証券売却益等の計上により1,262百万円の特別利益が発生するものの、前述1.の「特別損失の発生とその内容について」に記載のとおり、急激な市況の悪化に伴い保有する資産の評価を保守的に見積もったことにより評価損・減損損失を計上したことに加え、経営資源の集中と手元流動性を高めることを目的として保有する不動産・投資有価証券などの資産売却を進めたこと、収益構造の最適化を図るため幹旋事業における直営店舗(平成20年9月末現在72店舗、平成20年1月末比27店舗減)の統廃合を進めたこと、販管費の軽減を目的として事務所の統廃合を進めたこと等に伴い閉鎖損失・リース解約損などの特別損失が発生したこと等の影響により、7,033百万円の当期純損失となる見込であります。

#### (2) 個別

個別業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益は概ね前回発表時の予想通りとなる見込であります。

しかしながら、当期純利益につきましては、関係会社株式売却益等の計上により1,365百万円の特別利益が発生するものの、(1)の連結と同様の理由により特別損失が発生したこと等の影響により、7,021百万円の当期純損失となる見込であります。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により、上記に記載した予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお控えください。

以 上